

泉のほとり

・復活後第二主日

今月の詩編「第二十一編」

御力を表される主をあがめよ
力ある御業をたたえて、

我らは賛美の歌を歌う。

エマオへの道で

イエスさまは十字架で死なれました。弟子たちは主が死なれ、二度とお会いできない、その深い悲しみの中を過ごしていたでしょう。その中で、墓に行ってきた女たちが弟子たちに墓の中に主のお身体がなく、天使たちが主の復活を告げたこと知らせたのです。他の弟子たちも墓にお身体がないと知らせました。それを聞いた弟子たちの中の二人はエルサレムを離れ、エマオに向かつて出て行きます。

二人は暗い顔つきで歩きながら、話し合っている、復活されたイエスさまが近づき、一緒に歩き始めました。目が遮られていて、主だと気づかない二人にイエスさまは「その話は何のことか」と尋ねました。二人はナザレのイエスが十字架につけられたこと、墓に行った仲間の女たちがイエスのお身体が見当たらず、天使たちが「イエスは生きておられる」と告げたと知らせたこと、他の仲間たちもお身体が見当たらなかったと知らせたことを伝えました。二人は主の復活の知らせを聞いても、一度死なれた方がよみがえり、生きているはずがないと、主の復活を信じなかったのです。

イエスさまは「物分かりが悪く、心が鈍く、預言者たちの語ったことを信じられないものたち」と言われました。二人と歩きながら、旧約聖書全体に渡って、どの箇所にも、どのようにご自分の苦しみと復活について書かれているのかを教えてくださいました。話を聞いていた二人は心が燃えてきて、もっと話を聞きたいと思ったようです。二人はエマオの先に行こうとされるイエスさまに「一緒にお泊まりください」と強く引き止めます。

イエスさまは二人と家の中に入り、食事の席に着いて、賛美の祈りをし、パンを裂いて二人にお渡しになりました。すると、二人の目が開かれて、目の前におられるのがイエスさまだと気づきました。もうお会いできないと思っていた主は本当に復活された、生きておられると分かったのです。二人は喜びでいっぱいだったと思います。主のお姿が見えなくなると、二人はすぐにエルサレムにいる仲間の元に戻って行くのです。主の復活を一刻も早く知らせたいと。それだけではなく女たちの証言は本当だったのに全く信じず、仲間の元を離れてしまったと、鈍く、愚かな自分自身をかえりみていたと思います。二人が仲間のところに着くと、彼らも「主は復活して、ペトロに姿を現された」と話していました。二人も主が聖書を解き明かし、パンを裂いてくださったと分かち合っていると、主が再び現れたのです。その時、復活を信じなかった弟子たちは信じるものとなりました。

復活の主とお会いする前の弟子たちのように、この世の人は一度死なれた方がよみがえるはずがない、それが当たり前と信じています。しかし神さまはイエスさまを死者の中からよみがえらせ、死を超える神の力を表してくださいました。主の復活が福音として届けられている私たちは死者のよみがえりを信じる、その復活の信仰を持っていきましょう。復活の主は今も生きておられます。そのお姿は見えなくても、私たち主に私のことをお話ししたり、教えを受けたりしながら生きることができます。私たちは主が生きておられることを喜びながら、復活のイエスさまと共に歩んでいきたいと思えます。



2023年度

教 会全体課題

日々聖書に聴き、

御言葉に従って歩む。

2023年度

心に刻む御言葉

生まれたばかりの乳飲み子のように、混じりけのない霊の乳を慕い求めなさい。これを飲んで成長し、救われるようになるためです。

(ペテロの手紙一 2章2節)

公 告

下記により、四月教会総会を開催致します。
現住陪餐会員はご参加下さい。

2023年4月9日(日)

キリスト品川教会
代表役員 黄 允湜

日時 2023年4月23日(日) 礼拝後
場所 グローリア・チャペル・礼拝堂及びリモート

議題

- 1、2022年度教勢報告承認に関する件
- 2、2022年度諸会計補正予算及び決算報告、
財産目録に関する件
- 3、2022年度諸報告に関する件

議員資格満18才以上の現住陪餐会員。

(陪席) 義務教育終了後満18才未満の現住陪餐会員と不在会員、教会員でない附属幼稚園教諭は、教会総会に陪席することができます。

(キリスト品川教会教規 第3章第14条より)

《今日のお知らせ》

○礼拝後十一時三十分より、礼拝堂で四月教会総会を行います。教会員はご出席ください。

○総会資料の会計報告部分を状差に配布いたしました。

○次回の洗礼式と転入会式は七月三十日です。その時に受洗・転入会をご希望の方は願書をお書きになり、五月三十一日までにご提出ください。どちらの願書 も事務所にあります。

《役員会より》

○四月教会総会では議員お一人ずつ点呼をとります。リモート参加される方は画面に表示される名前を「議員名」とし、画面上ではご本人確認のできる状態でご参加ください。

今日の聖書クイズ

(問) 主イエスが復活された後、最初に主に会ったのは誰でしょう？

- A フィリポ
- B ヨハネ
- C ペトロ
- D マグダラのマリア

(答) ヨハネによる福音書20章11～18節を御覧ください。



《今後の予定》

○五月七日 ハイデルベルクの会

○五月二一日 定例役員会

○五月二八日 ペンテコステ礼拝(二回礼拝)



《次週の礼拝》

●一回礼拝(午前9時30分)

讃美歌 22番 461番

説教 「マグダラのマリアに」

聖書 ヨハネ20章1～18節

説教者 宮間彰広兄

●第二礼拝(午前11時)

讃美歌 152番 306番

説教 「もう十分です」

聖書 列王記上19章1～8節

説教者 黄允湜牧師





一回礼拝 (午前10時)

讃美歌 22番 461番
説教 「気を落とさずに祈る」
聖書 ルカ18章1～8節(新約 P143)
司式 石川 一兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師・菊池 美穂子 副牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「羊は安らかに草を食み」

(狩のカンタータより) J.S.バッハ

○讃美歌22番

1.めさめよ、わがたま あさ日にともない
あしたのほめうた みまえにささげよ

2.むなしくすごしし ときをばつぐのい
ちからのかぎりに みわざをつとめよ

3.うえよりたまわる たからをもちいて
おわりのさばきに かしこみそなえよ

4.かくるものをも 主は知りたまえば
ことばとおもいを ひたすらきよめよ

5.めさめよ、わがたま この日もひねもす
みくにをのぞみて いそしみはげめや

アーメン

○讃美歌461番

1.主われを愛す 主は強ければ
われ弱くとも 恐れはあらじ

※ くりかえし

わが主イエス、わが主イエス、わが主イエス
われをあいす

2.わが罪のため さかえをすてて
天よりくだり 十字架につけり ※

3.みくにの門を ひらきてわれを
招きたまえり いさみて昇らん ※

4.わが君イエスよ われをきよめて
よきはたらきを なさしめたまえ ※
アーメン

聖餐曲「悩むものよ、とく立ちて」 D.ワグネル

後奏曲「アレグロ」

(オルガン協奏曲へ長調より) G.F.ヘンデル